



かなざきひさを応援する会・会報 51 号 事務局 上山口 1878-9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

平成 25 年度予算が成立

○平成 25 年度予算特別委員会が設置され、かなざきひさが委員長に任命されました。慎重審査の結果、平成 25 年度予算が成立いたしました。しかし、私はごみ行政に異議あり、一般会計には反対をいたしました。

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
一般会計	88 億 6700 万円	87 億 4800 万円	1 億 1900 万円
国民健康保険特別会計	38 億 6912 万円	約 37 億 3442 万円	約 1 億 3470 万円
後期高齢者医療特別会計	約 7 億 9801 万円	約 7 億 6593 万円	約 3208 万円
介護保険特別会計	約 24 億 7435 万円	約 24 億 4219 万円	約 3216 万円
下水道事業特別会計	約 12 億 2155 万円	11 億 9132 万円	約 3023 万円
合計	約 172 億 3003 万円	約 168 億 8186 万円	約 3 億 4818 万円

○反対をした主な理由

衛生費が約 13 億円で、町予算の 14.6%を占めております。この削減のためにずっと提案を続けておりますが、全く改善の兆しが見受けられません。ごみ処理費を少しでも削減して、そのお金を福祉・教育・子育て等にまわすべきです。

(かなざきひさが提案する削減策)

- ・ごみの祭日収集 (1,000 万円) を中止する。
- ・現在 4 品目の収集をお願いしている集団資源回収の 19 団体にミックスペーパーを加え 5 品目にする事によりミックスペーパー収集委託費 (516 万円) が不要となる。
- ・不燃物はクリーンセンターに集めており、その収集は業者委託となっている。不燃物の収集を町職員で行うことにより、不燃物収集委託費 (3,089 万円) が不要となる。
- ・プラスチックは容器包装プラスチックと廃プラスチックに分別して収集しているが、その分別をやめるべきである。容器包装プラスチックはきれいに洗っていただいたの排出となり、町民の皆様に手間をかけている。それにもかかわらず、その処理費用は 60,900 円 / t であり、廃プラスチックは 33,075 円 / t である。そして、いずれもリサイクルはされている。また、容器包装プラスチックは手選別され、汚いものは葉山町に返還されるシステムとなっており、その戻されたものは再び廃プラスチックとして処理しなければならない。その費用は合計 93,975 円 / t となる。プラスチック分別を中止することにより、1,000 万円の削減になる。

かなざきひさの一般質問

(1) 機構改革について

現在、公共下水道は下水道課、合併浄化槽・コミプラは環境課と分かれているので、海と川をきれいにするために施策の展開を統合する課の必要性を質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
4 月から機構改革を行うとのことであるが、公共下水道・合併浄化槽・コミプラを統合するお考えは。	現在、葉山町機構改革職員検討会の結果を待っているところである。(町長)
町長として検討会にそのように指示しているのか。	指示はしていない。(町長)
し尿処理が公共下水道に投入することになるが、その利用料を 4,000 万円環境課から下水道課へ支払うこととなる。同課で使用料収入としてまとめた方が良いのではないのか。	下水道特別会計の会計法に則って行わなければならないので、そのような扱いとなる。(町長)
3 団地のコミプラについては。	将来的には公共下水道に接続する。(福祉環境部長)
市街化調整区域の合併浄化槽設置数が期待どおりにはいかないので、市町村管理型で補助率を上げ、料金体制を見直すなどの発想の転換が必要ではないのか。	検討する。(町長)
かなざきひさの考え 水質浄化のための施策を同一の課にして展開すべきと思います。特に環境課は業務が多く、ごみ問題だけで手いっぱいです。市街化調整区域は合併浄化槽で行うという方針であれば、全て補助金で設置しても、公共下水道管敷設より安価であり、管理を町が行う代わりに、公共下水道並みの利用料を徴収すれば、町の安定的な収入となります。	

(2) ごみ行政について

町は戸別収集の全町実施と同時に資源ステーションを設置するとの考え方です。今回は資源物収集のみに特化して、その時期と方法について質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
戸別収集が2月から5町内会となったが、全町実施はいつ頃になるのか。	遅くとも26年度の早い時期にと思っている。(町長)
5町内会の検証を6月に終える予定とのことであるが、その後のスケジュールは。	6月以降は、どのようにすれば町長マニフェストである30%のごみ量削減が達成できるかを考える。(福祉環境部長)
検証後、ごみ量削減が難しいとなると、収集方法の変更を考えるのか。	5町内会で先行実施している方法を変えるつもりはない。(町長)
資源ステーションに出された物で「缶・金属類・古紙類・古布」など11品目は各町内会が民間業者と契約して回収している。すでにある19の集団資源回収協力団体は4品目である。11品目にして資源物収集を早めてはいいかがか。	戸別収集の全町実施に合わせて資源ステーション設置を行う。(町長)
19の集団資源回収協力団体はそれぞれがその地域に合った収集のノウハウを心得ているので、一刻も早く19団体の長に集まっていたいで相談すべきである。	個別に相談をして協力を仰ぐ。(町長)
すでに資源ステーションを実施している5町内会には5円/キ。支払っているのに19団体には3円/キ。である。その差はなぜか。	19団体の地域は行政収集と二重の手間がかかっており、5地域には行政収集が必要ではないので、その分2円の上乗せを行っている。(福祉環境部長)
昨年12月から始めた役場2階玄関前で行われている土曜広場はごみへらし隊が実施し、5円/キ。支払っている。これは地域限定ではないので、今の答弁の理屈と合わない。	精査する。(町長)
ごみへらし隊及び5町内会の契約業者には奨励金7円/キ。支払っており、19団体の契約業者には奨励金ゼロである。故に19団体も他と同様5円/キ。にすべきである。	精査する。(町長)
ごみへらし隊とはどういう立場なのか。土曜広場のボランティア募集を環境課の名のもとに広報はやまで募集し、庁舎内にも土曜広場の張り紙も見られる。また、様々なチラシも環境課とごみへらし隊との連名である。それでいて、資源回収協力奨励金を支払っているということは理解しがたい。	ごみ減量に協力している任意の団体である。(福祉環境部長)
かなざきひさの考え ごみ行政については、ずっと苦言を呈していますが、全くやる気が見られません。葉山町で一番の課題はごみ行政であると言っても過言ではないほど問題が山積しているにもかかわらず、その場しのぎで成り行き任せです。環境課にとって荷が重すぎるのか、あるいは町長が指針を示さないからなのか、定かではありませんが、葉山町にとって大変不幸な状況です。	

(3) 町の活性化について

今回は海の活性化について質問しました。葉山港は県の施設ですが、指定管理者に運営を任せております。今年は指定管理者の公募が行われており、葉山町が応募するつもりがあるのかどうかを伺いました。

質問と提案	理事者側の答弁
葉山港管理について。	以前は町が委託されていたが、21年から指定管理制度を導入し民間に移管された。(町長)
指定管理者公募の年であるが、応募するつもりは。	応募しない。(町長)
葉山町はヨット発祥の地であり、やはり海はシンボルである。応募すべきと思うが。	調査をしたが、今のサービスを継続していくためには、資金不足となり、町にとって荷が重い。(町長)
かつて葉山港管理を葉山町が担っていた時は、県からの委託金で賄っていたが。	副町長の調査によると赤字となっているようだ。(町長)
葉山港でのイベントも多々あり、ヨットスクールなどにも支障はないのか。	今回の指定管理者との良好な関係を構築していく。(町長)
かなざきひさの考え 葉山港は海の駅に指定されております。そのイベントも葉山町後援で大規模に行われたのですが、町として何の広報もされませんでした。水陸両用バスの乗車体験など、せっかくの葉山の海でのイベントだったので、もっと多くの町民の方々に楽しんでいただけるよう配慮が必要だったと思います。それが葉山町の活性化にもつながり、住んで良かったと思える町づくりになると思います。葉山港は葉山町にあり、葉山町が管理者になるのが理想ですが、町長にその気がないのであれば、せめて、指定管理者との良好な関係を結ぶことを実行していただきたいと思います。	